

北播磨総合医療センター 現状と課題

- ✓病院経営
- ✓人員不足
- ✓働き方改革の推進
- ✓北播磨圏域での役割分担・連携構築
- ✓救急医療
- ✓周産期医療
- ✓小児救急
- ✓外来機能
- ✓増改築計画

病院経営

2024年度、2025年度大幅な赤字



病床回復に伴う収入は増加
しかし、人件費・材料費がそれ以上に増加
収入増加・支出の軽減のためWG設置



2026年度診療報酬改定に期待するも、赤字額を上回る増収の来込みは？
人事院勧告をいつまで準拠できるか不透明

人員不足

看護師は2019年をピークに減少傾向となり、2022年度には病棟機能の維持が困難となったため、一般病棟8病棟の内2病棟を閉鎖



業務改善・処遇改善、介護福祉士の採用、
タスクシフト・シェア
若手職員からの意見を反映などで離職者の減少
看護学校訪問 応募者数の増加



2023年度末に一般病棟1病棟再開、2026年度中に全病棟稼働を予定

その他、薬剤師、事務員の採用に難渋

働き方改革

B水準：消化器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科



時間外・休日労働時間は徐々に短縮しているが、医師全体の短縮は軽微



オンコール手当の見直しを予定

地域医療：分担と連携

加西病院は病床数を減少させ、急性期病床削減予定



北播磨圏域で圏域内完結型の医療を保てるかが問題となっている



加西病院、西脇病院、加東市民病院、多可赤十字病院に呼びかけ、連携を強化したい

救急医療

全国的には救急患者増加傾向との情報だが、減少傾向にある



受診控えか、要因は不明。また、がん診療も減少傾向にある



高齢者救急をどうするか、下り搬送の運用と共に協議が必要

周産期医療

小野市内での分娩可能施設

小野市：北播磨総合医療センター
わかば・産婦人科分娩休止（2026年度）

三木市：なし

加東市：なし

加西市：なし

西脇市：西脇病院、いわたウイメンズクリニック

多可町：なし



当院産婦人科医1名（2026年度定年年齢）

いわたウイメンズクリニック医師高齢

西脇病院2名（内1名は高齢）



播磨東圏域として、東播磨圏域に依存せざるを得ない状況

小児救急

圏域内の小児科診療所が減少、新規開業はない



小児一次救急の維持が困難になってきている



東播磨圏域の小児救急に依存している現状

#7119の利用促進も重要

外来機能

本来地域の中核病院は外来よりも入院機能の充実が求められていた



しかし、開業医の高齢化・新規開業が僅かな状況で、近い将来外来機能の拡充が必要ではないか



また、入退院支援の充実、PFMの改善は喫緊の課題



病院間の役割分担に加えて、ハード面での改善が必要
(増改築)

増改築

2022年度より検討を開始し、2025年度着工予定だった



資材高騰・人件費増に伴う建築コストの高騰
2024年度診療報酬改定に伴う病院収益の悪化



増改築は計画が暗礁に乗り上げた



2026年度診療報酬改定や社会情勢をみながら、規模を縮小して再度起案を考慮